国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成３０年2月２８日
九州地方整備局
福岡国道事務所

有明海沿岸道路（ありあけかいえんがん） 大川東（おおかわひがし）IC～大野島（おおのしま）IC間が平成32年度に開通します。

〇有明海沿岸道路（ありあけかいえんがん）は、三池港（みいけこう）、九州佐賀国際空港（きゅうしゅうさがこくさいくうこう）等の交通拠点等を結ぶ広域交通ネットワークを形成するとともに、並行する国道２０８号の交通渋滞の緩和や交通安全の確保を目的とした地域高規格道路です。

〇昨年９月に、徳益（とくます）IC～柳川西（やながわにし）IC間（延長４．５ｋｍ）が開通し、これまで、三池港（みいけこう）IC～大川東（おおかわひがし）IC間の延長２３．８ｋｍが開通しています。

〇この度、大川東（おおかわひがし）IC～大野島（おおのしま）IC間（延長３．７ｋｍ）において、用地買収の完了及び筑後川橋の架設に着手したことを踏まえ、残る工事工程を精査した結果、平成３２年度に開通する見通しとなりましたので、お知らせ致します。

〇引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

〇期待できる主なストック効果

・地域経済の活性化を支援
・災害時のリダンダンシーの強化
・豊かな観光資源を連結し、アクセス性向上

問い合わせ先：
国土交通省　九州地方整備局　福岡国道事務所
技術副所長　甲斐（かい）　靖志（やすし）　TEL：０９２－６８１－４７３１（代表）
計画課長　野村（のむら）　文彦（ふみひこ）　TEL：０９２－６８１－７７４７（計画課・直通）
E-mail：fukkoku@qsr.mlit.go.jp
URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/

有明海沿岸道路（大牟田～大川）　大川東IC～大野島IC間

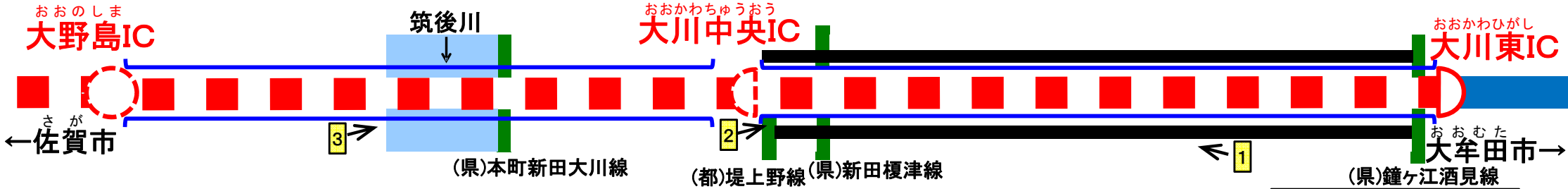
有明海沿岸道路（大牟田～大川）　大川東IC～大野島IC間　工事進捗状況

延長3．7km

平成32年度開通予定

筑後川橋　延長　1，008m

大川高架橋　延長　2，086m

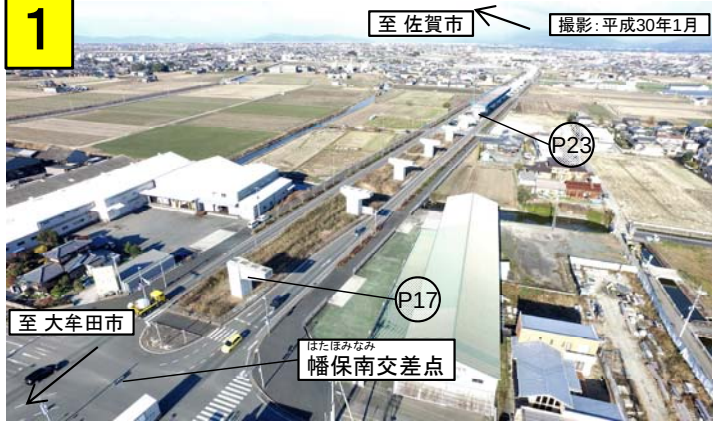


番号 は写真と撮影方向を示す

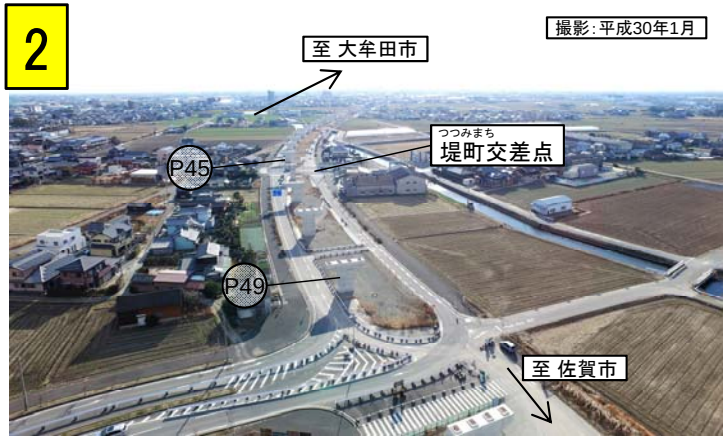
開通区間（自動車専用道路部）
事業中区間（自動車専用道路部）
開通区間（一般道路部）
主要地方道

大川高架橋　進捗状況

1



2

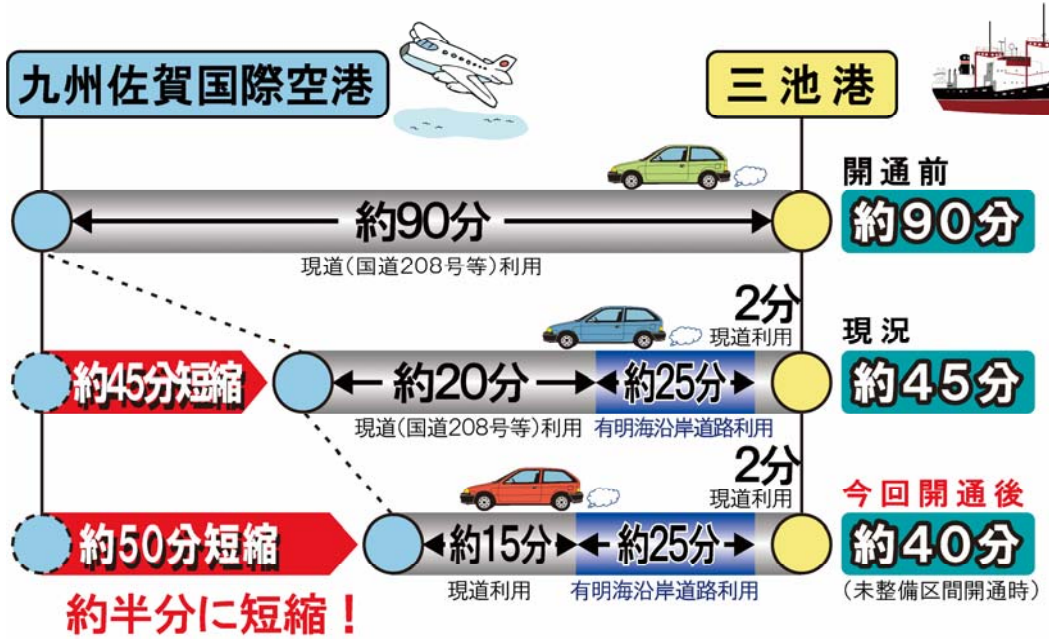


筑後川橋　進捗状況

3

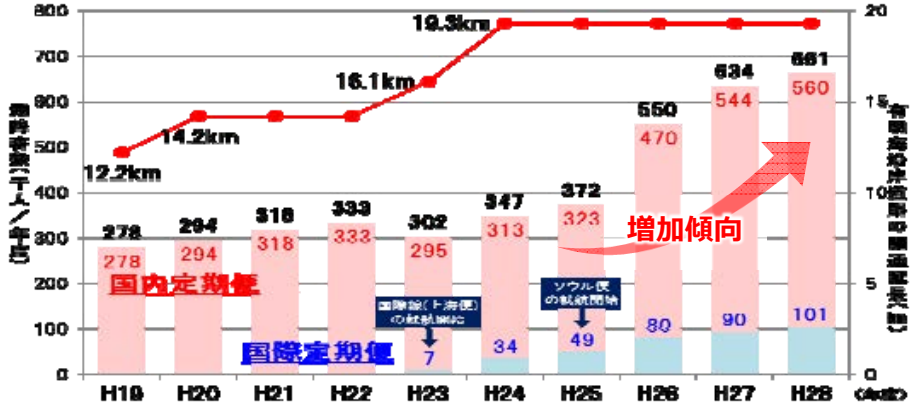
地域経済の活性化を支援

○有明海沿岸道路の整備により、九州佐賀国際空港～三池港間の所要時間が短縮され、アクセス性も向上しており、九州佐賀国際空港の乗客数が増加しています。
○特に、空港アクセスリムジンタクシーの利用では、福岡県内からの利用者が平成19年から約80倍に増加するなど、今後整備が進むことで、更なる利用者の増加が期待されます。



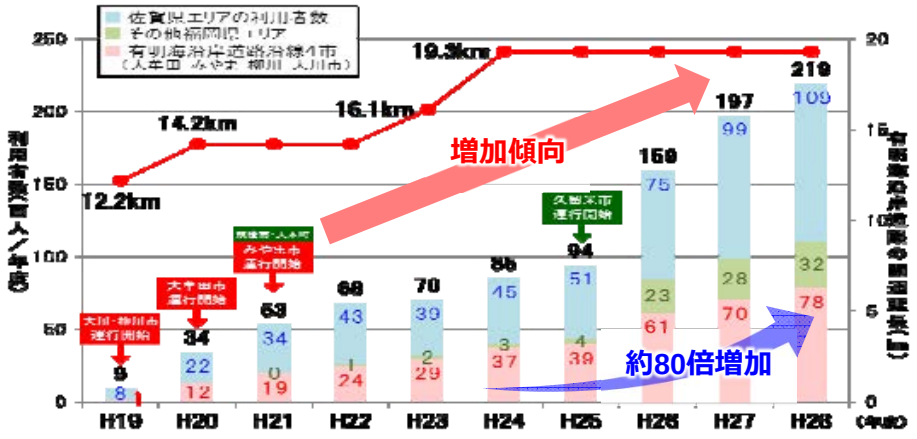
■大牟田市～九州佐賀国際空港間の所要時間の変化

※走行速度の考え方
・開通前はH17道路交通センサスの混雑時平均速度(km／h)　・現況はプローブデータの混雑時平均速度(km／h)
・開通後はプローブデータの混雑時平均速度(km／h)、ただし有明海沿岸道路(未整備区間)を70km／hで算出



■九州佐賀国際空港の乗降客数

資料：佐賀県空港課提供資料
(H29.3末時点データ)



■九州佐賀国際空港 リムジンタクシーの利用者数

資料：佐賀県空港課提供資料
(H29.3末時点データ)

■九州佐賀国際空港の状況

災害時のリダンダンシーの強化

○沿線地域である大野島は、筑後川、早津江川、有明海に囲まれた島であり、地域へのアクセスは新田大橋と　早津江川橋、川副大橋の３橋のみとなっています。

○近年、台風の接近回数が増加傾向にあるなど当該地域では、浸水発生のリスクが増大しています。

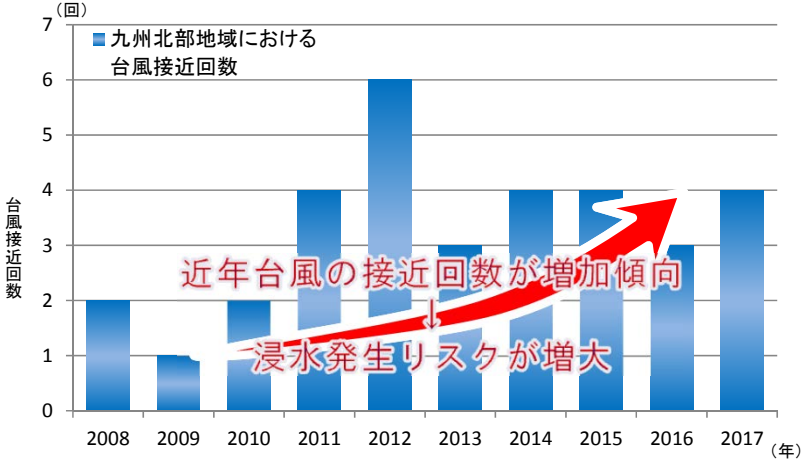
○有明海沿岸道路が整備されることで、災害時の代替路が確保され、沿線地域のリダンダンシーの強化が期待されます。

※ベース図：大川市、佐賀市ハザードマップ

■大野島のアクセスと浸水危険箇所の指定状況

■平成2年水害時の道路冠水状況

■平成24年九州北部豪雨
国道208号 道路冠水状況



■九州北部地域における台風接近回数

大野島の特徴

・筑後川（東側）、早津江川（北・西側）、有明海（南側）に囲まれた地域
・避難路と想定される（県）大牟田川副線の筑後川に架かる新田大橋は、台風等による通行規制の実績あり（H16：2回、H27：1回）

豊かな観光資源を連結し、アクセス性向上

○有明海沿岸道路の沿線地域には、世界遺産「三池炭鉱」（大牟田市）、お堀めぐり（柳川市）など、豊かな観光資源があり、有明海沿岸道路の開通とともに、観光入り込み客数が増加し、沿線地域には約1，100万人を越える観光客が来訪しています。

○また、有明海沿岸道路が開通されたことでアクセス性が向上し、世界遺産「三池炭鉱」、「三重津海軍所跡」を周遊する新たな観光ルートが形成されており、今後整備が進むことで、更なる観光振興による地域活性化が期待されます。

①世界文化遺産「三重津海軍所跡」（佐賀市）

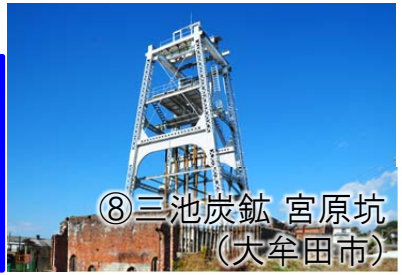
■三池炭鉱～三重津海軍所跡間をバスで周遊するツアー
（H28.1.30開催）

旅行会社職員

世界遺産周遊ツアーを敢行し約50名が参加しました。

⑥お堀めぐり（柳川市）

⑦宝満神社奉納能楽（みやま市）


⑧三池炭鉱 宮原坑（大牟田市）

②筑後川昇開橋（大川市）

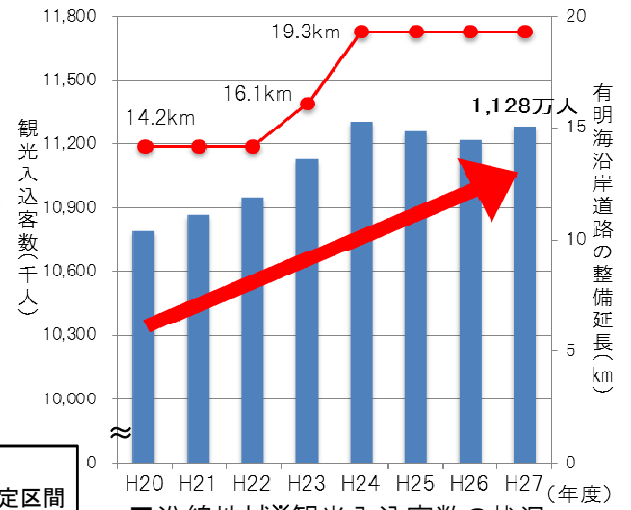
④デ・レイケ導流堤（筑後川）

③大川テラッツア（大川市）

⑤ウッドワークミュージアム（大川市）

■世界遺産周遊ツアー（一例）
・所要時間：約9時間
・出発地：JR小倉駅新幹線口
=九州自動車道 南関IC→三池炭鉱→三池港→=有明海沿岸道路=→佐賀反射炉→三池海軍所跡→長崎自動車道 佐賀大和IC=

開通区間
H32年度開通予定区間
事業中区間
調査中区間



■沿線地域※観光入込客数の状況
出典：福岡県観光入込推計調査
※大牟田市、みやま市、柳川市、大川市、久留米市、筑後市、大木町

写真：各市・観光協会HP